

ひなた	Hyuga pharmacy株式会社 社内報2号	★「ひなた」とあわせて「きり薬局」の「Facebook」随時更新中★
	2012年12月17日発行 編集・薄 裕弓 福岡県大野城市瓦田4丁目15の26	

黒木哲史 社長

6期がスタートしました。
今期のスローガンは決算報告会でも話を頂いたように「適正サービスと適正利益」です。

調剤薬局を5年経営してきた私の結論です。患者サービスと利益のバランスをうまく保ちながら薬局を続けたい。
Hyuga Pharmacy株式会社は毎年成長をしています。その為、従業員の70%以上は入社3年以内の若い会社です。

私自身も薬剤師としても、経営者としてもまだ幼く右も左もわからないまま開業しました。すべての事が初めてで、相談をする相手も正直、殆どいませんでした。調剤、採用、営業、人事、会計、教育など同時にやらなければならない。今まで面接された事しかない人間が、人を選び採用しなければならない。お金を借りたりすることも一度もなかった人間が銀行と交渉する。調剤の経験すら殆どなかった。

今、社員・パートの皆さんも「慣れない仕事」や「将来に対する不安」や「自分の決断」に悩んだり、パニックになったりする事もありますが、それが正常だと思います。「いっぱいいっぱい」の状態であることが「自分の成長への筋肉痛」です。っていうか、正直、今の私自身も「いっぱいいっぱい」です。いつも自分は何をやってるんだろう？と思います。こんな事していて自分のしたいことに近づいているのか？自分の作りたい薬局に近づいているのか？将来自分は幸せでいれるのか？

ただ落ちついて現実を見てみると、実りある人生を送るためには、自分の目の前の問題や課題をひとつひとつ解決するしかないことに気づいた。

やりつづければ必ず何とか自分のものにできる。頑張ろう。

城尾浩平 店舗運営部長

私はこの会社の最大の強みは、何よりも「人」であると考えています。一人一人のモチベーションや人間性に関して、どの会社にも負けない人材が揃っていると思います。その強みである「人」をより活かすために、社員それぞれのポジションや成長段階に合わせた教育を行うことで、より理論的に日常の業務に取り組み、実力を発揮できるようになって頂く為、今期は「教育」に力を入れて取り組みます。

例えば、管理者やリーダーにとって、「スタッフが輝きながら仕事に取り組みる様に支援する事」は非常に大事な役割なので、その為に必要なスキルを学ぶ機会が必要で、中堅社員は自分だけでなく店舗全体の課題を見つけ出し、その解決に取り組むスキルを学ぶ機会が必要であると考え、「管理者養成研修」「中堅社員研修」に取り組む様にしています。

また、患者様にお届けする薬そのものが一定の品質に保たれるようにする為には、調剤される工程も一定の水準を保つ必要があります。その工程を最低限の水準までは全員が実技としてクリア出来る様、基礎的な調剤手技を身につけて頂く目的で、「調剤手技研修」を取り入れています。

また、薬局は専門性の高い職業であり、そこで働いている皆さんには、薬剤師、事務に関わらず、プロフェッショナルでいて頂きたい。薬剤の知識を定期的に吸収する場と、実際に現場であった事例を検証し、共有する場を作ることで、専門性の高い知識を身につけて頂きたいと思い、「薬剤知識研修」を引き続き行い、その中に「事例検討発表」の場を作ることにしています。

「成長することも仕事」として取り組んで頂きたいので、可能な範囲で敢えて業務中に時間を設けていますが、その分現場への負担も大きいと思います。しかし、会社として社員一人一人の成長は非常に重要な事と考えていますので、「与えられたもの」としてではなく、この機会を利用して積極的に知識や経験を吸収して、自己成長につなげて下さい。

社長研修を初め、全ての研修が、この会社の中だけでなく、社員一人一人の人生において役に立つ日が来ると私は信じています。

第5期ポイント結果(6月～10月)

11月19日の勉強会の場で、6月から始まりましたポイント評価制度の結果発表がありました。結果は以下の通りです。

① 太宰府店 8508.7
② 春日店 8242.2
③ つつじ薬局 7770.3

ポイント制度が始まり5か月間、各店、各自が取り組んだ結果です。太宰府店のメンバーがどのように取り組み、結果を出すことができたのかを脇岡さんにお聞きしました。

「19:30には必ず帰る」というルールを定着させただけ。本日中に業務しなければならぬことに集中する。また、明日の午前中で間に合うものに関しては、勇気をもって作業しない！業務にメリハリをつけることが大事だと思っています。

太宰府店ではいち早く、業務ジャッフルに取り組んだ結果、1人1人がいくつもの業務に携われるようになったため、自分以外のスタッフの業務が、どうすれば効率よくなるかを考えて動けるようになったと思います。今では、私が何も言わずとも、スタッフ間でヘルプの要請、ヘルプに入るという環境が出来上がっています。

きりりの名刺

●太宰府店管理薬剤師・脇岡彰史さんの名刺の裏書の紹介●

自己紹介
●1979年7月鹿児島生まれ 宮崎市日向学院高等学校卒業
●第一薬科大学薬剤品合成学教室卒業(薬剤師免許取得)
●調剤薬ファルマウニオン (福岡、小倉)

趣味
野球 特にホークス！、茶道(裏千家)

好きな言葉
give & take. 己を知り己に克て

人生の夢、目標
感謝の気持ちを忘れない。自分らしく、人間くさく生きる。

●裏書の理由・先方の反応を教えてください。●

好きな言葉「give&take」についてお話をさせてください。私は、「give&take」=「公平にやりとりする、お互い様」とは思っておりません。家族、友人、職場のスタッフ、全ての人にまずは、自分から、giveし続けることが大事。誠心誠意、相手が喜んでくれるように自分から動き続けると、いつか、自分に助けが必要なときに、1つのtakeが得られる。相手から受け取るよりも、相手に与える事を意識することが、自分にとって大きな財産としてかえってくると思っています。損得なしに、自分の出来る限りのことをしていれば、必ず、相手にも自分の思いが伝わる。「givegivegivegivegivegivegive&take」これが私が生きる上で、仕事をする上で大切にしていることです。ちなみに、先方さんにこの言葉について何か言われたことはありませんが・・・「ホークス」→いいね！「茶道」→ウソやろ！と言われることがほとんどです(涙)

スタッフ紹介

*きりりスタッフの紹介をします。

●松原店薬剤師(S1社員)・福興 高志 31歳(入社約3ヵ月)●

*薬剤師になったきっかけは？
正直最初は成り行きで、前職も「薬剤師」とあまり関係ない仕事をしていましたが、薬剤師として何ができて何が提供できるのか、やってみたくて思いました。

*決起集会に参加してみて(どうでしたか)
知らない知識や、社会変化に伴い会社がどう変化すべきか、そのために自分に今何が必要で、どういう人間・薬剤師になるべきかを考えさせるきっかけになりました。

*これからの自分の目標
患者様に安心して信頼される知識と人間性を養う
他人・自分・社会に対して謙虚な姿勢

*今の自分に点数をつけると？またその理由は？
自分でつけれる段階ではないです。
理由:人を納得させられる知識・実行力・説得力の未熟さ

●就業規則が整い、約1年がたちます。我が社のスタッフも毎月増え、会社も大きくなっていくなかで、働きやすい環境整備や制度を活性化させていくことも重要課題です。

この度、春日店 井上先生がパートからFF社員に変更になりました。Hyuga Pharmacy 樹が導入しているWB(ワークバランス)制度ですが、いまいちどうなっているのか雲の中。なので実際のWB制度の流れと感想をお願いします。

*パートからFF(ファミリーフレンド)社員への変更をしようと思ったきっかけは何ですか？
基本週30時間はたらいっているので(FF社員は)どうかと思っていました。パートの波がある収入より、一定した収入のほうが良いと思って、3人の子供がスイミング・サッカーなど習いたいと、泣きそうです(笑)また生活にメリハリもつくと思ったので。(注1)
*相談から変更決定までの流れを教えてください。
11月半ばに城尾さんに相談し、ちょうど決算処理で立て込んでいたので「12月の頭にはきちんと話ができるよ。」と言われ、12月の頭に話し合いをしました。城尾さんから社長に相談してもらい、すぐに正式に回答をいただき、1月からFF社員で働きます。
*感想は？
城尾さんがきちんと対応してくれたのでよかったです。やめとけばよかったともまったく思いませんでした。次に変更するとしたら、子供がみんな小学生以上になったとき、WBでもいいですね。きりりは社長がいて、城尾さんがいて、2人を慕う薬局長がいて、、若いみんなの中に入って、若者パワーをもらおうという気持ちでがんばります。

編集後記

きりり薬局の社内報として、2号を発行できることができ、まず安堵をしている薄です。「ひなた」はHyugaPharmacyのひとりひとりがこの誌面を通じて、共有できるひとつのツールとして取り組みたいと思います。この度、営業の堤さんより、スタッフの働きやすい環境つくりのひとつとして新聞への掲載を提案していただきました。「ひなた」は、結婚しても子育てしながらでも介護しながらでも働ける会社にするためにも、それぞれの働き方のケースを随時紹介をしていきます。来春にはレクレーションも企画しています。普段は顔をあわせることの少ないスタッフ同士でもコミュニケーションを図る場にしたいのでみなさん参加してくださいね。